

**第3回常任理事会報告**

# 沖縄の実情を訴える、支援連帯のチラシ6万5000枚！

## 県内33の地域・職場に配布、さらに他団体にも大胆によびかける！

・10月13日、第3回常任理事会が水戸市内で11名の参加で開催されました。中心的課題は9月の理事会で打ち出された秋の取り組みに関して中間的なまとめと引き続き持続的に発展させるために話し合いました。以下、要約を記します。

### マスコミ攻勢に、平和の論理で打ち勝とう

・マスコミでは、尖閣諸島問題、北方領土問題、北朝鮮問題をとり上げるたびに、軍事力の増強・自衛隊の増強・日米軍事同盟の強化など、力の論理でテレビ・新聞で撒き散らしている。問題が起こったときに、話し合いで解決するのが憲法の考え方であり、現在の世界の情勢も平和を崩しては成り立たなくなっている。マスコミの宣伝に打ち勝つ論理で、堂々と対応する気概を持とう。

### 各平和の会で精一杯頑張ってます

・石岡平和の会の1万3000枚から、100枚の配布というようにそれぞれの力量に応じて頑張ってもらっています。多く

でも少なくとも平和への思いは変わらず、精一杯努力している姿に変りはありません。力量のあるところさらに力をのばし、力量不足のところは追いつき追い越せの気持ちでお互いに切磋琢磨していくのが平和委員会の活動です。一人でも多くの県民に運動の輪を広げましょう。

### 10月24日沖縄学習会を成功させよう

・沖縄の現状を学び・知ることは、日米安保条約そのもの、その歴史的本質を理解することに繋がります。各平和の会で誘い合って参加してください。平和委員会は市民団体であり、また、運動団体あります。今回の学習会を成功させ、地域・職場学習会を開き沖縄支援輪の拡げるステップにしよう。  
(詳細は前号かわら版参照)

### 平和意見広告の取組みに全力を！

・掲載紙についてはいろいろ議論がありましたが朝日新聞に決まりました。沖縄支援のチラシを配りながらとりくみましょう。

## 10年平和意見広告の賛同・口数の実現目標

平和意見広告を成功させるために全力を！常任理事会は訴えます。

1 北茨城	45	11 花だいこん	30	21 土浦	60	31 筑西	60
2 美和・緒川	25	12 はばたき	15	22 阿見	75	32 結城	40
3 日立	10	13 内原・友部	65	23 つくば	15	33 さかい	10
4 太田	40	14 笠西	20	24 守谷	30	34 古河	20
5 大宮	10	15 鹿行	50	25 つくばみらい	25	35 五霞	10
6 東海	60	16 潮来市職	15	26 茎崎	30	36 その他	50
7 ひたちなか	60	17 池貝	10	27 龍ヶ崎	20		
8 那珂	25	18 石岡	110	28 美浦	15		
9 水戸西	70	19 八郷	25	29 藤代	75		
10 水戸南	30	20 百里	5	30 取手	65		



・平和意見広告の内容は、「沖縄から米軍基地をなくそう！＝平和に生きる権利をとりもどそう＝」とします。

・個人賛同1300口、団体賛同130口の目標実現のために下記のとおり各平和の会に要請いたします。昨年実績を基準に決めさせていただきました。12月には県議員選挙がありますのでご多忙と思いますが、ピッチを早めて取り組んでください。

## 沖縄知事選支援のとりくみ

- ・沖縄県知事選については、カンパで支援します。各平和の会で財政のあるところ、会員のカンパにお願いできる場所など、いろいろな工夫と知恵を出し合い取組みを願います。
- ・各平和の会の力量に応じて一万円を目処にお願いします。
- ・11月10日締め切りで、急ピッチですがご協力を！

また、民医連では、現地への応援の派遣を計画しています。応援・お手伝いに現地へ行ける条件のある方は、ぜひお願いします。

### 日本平和大会 in 佐世保

・各平和の会で話し合っ、できるだけ多くの方の参加をお願いします。(10月末までにいける方を取りまとめる。)

### 平和ワインの注文を！

・昨年実績を上回るように取り組み、11月末までに予め注文をとってやりたい。  
(お届けは12月初旬)



**平和新聞** 2010年10月15日(金曜日)  
1938号 (毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

**平和かわら版** 平和新聞茨城版 No. 576  
2010.10/15  
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 学びの秋に 秋の信州路の旅

## =無言館・安楽寺・海野宿を訪ねて=

守谷平和の会 齊藤 哲

守谷平和の会は、10月1日に日帰り秋の信州上田への旅を行いました。22名の参加（ご夫婦での参加が3組も！）で、かねてから戦没画学生の絵画や遺品が展示されている無言館に行く計画がやっと実現しました。メインの無言館のほかに、鎌倉時代に建立された安楽寺と、日本でも珍しい八角三重の塔を見学し、次は北国街道の宿駅として開設された海野宿（延長650m）を歩きました。

今回、無言館に始めて行く人、すでに何回か見学した人もありましたが、それぞれの思いで戦没画学生の絵を鑑賞してきました。バスの中では行きに自己紹介・現地の説明など、そして、

帰りには一日の感想を一人ひとりから発言してもらいました。皆さんからは、「一応に有意義な一日であった。」「楽しく過ごせたのは、平和の会の皆さんのおかげです。」などの嬉しい声も聞かれました。

何回かいった人からは、「1回より2回と、改めて戦没画学生の存在感、将来ももっといい絵を描けた事への思いをかみしめた。」「戦争がなかったらと、残念でならない。あの暗い時代に豊かな絵をかけたのだろうか。自画像の絵を見ていると、その眼差しにハッとさせられる。」「やはり平和への尊さを感じ、いまの時代で良かった。これからは憲法9条を守り、私たちががんばらなくてはならないのだ。」等々の感想が述べられました。

今後も楽しく学びつつ、親睦を結べるような行事を計画しようと話し合っています。



## ニコラエフスク(尼港)事件と庄蔵さん

秋山さよ子（水戸市在住）

実家の一室に曾祖父母の遺影と並び、軍服姿の青年の遺影が掛けられている。あどけなさを残す顔をしたその青年の名は秋山庄蔵。私の曾祖父の実弟で祖父の叔父にあたる人だ。彼は私たち家族に「庄蔵さん」と呼ばれ今も良く話題にあがる。

子どもの頃、「庄蔵さんはソ連の方で捕虜になって酷い殺され方をした（らしい）」と大人たちから聞かされた。しかしそれ以上のことは誰も知らなかった。

伝えられている話によると、その昔秋山家は博打好きの母親が作った借金で家も土地も全て失う寸前だったという。その危機を救ったのが、次男である庄蔵さんの戦死による恩給だった。招集される前に庄蔵さん本人が「俺が戦争で死ねば国からたくさん金がおろるから…」と口にしたそうだ。そして身重の兄嫁に「義姉さん、元気な男の子を産めよ」と言い残し、庄蔵さんは身投げをするように出征していった。

庄蔵さんは兵隊検査で甲種合格だったといわれているが、そんなことを抜きにしても優秀な好人物だったという。戦争はもとより、家の犠牲となった庄蔵さんがどこでどのような最期を迎えたのか、誰も知らないということが私の心の隅にずっと引っかかっていた。

この夏、ニコラエフスク（尼港）事件について学ぶ機会があった。

コープ菜の花で開催された戦争と平和展に行った折り、ニコラエフスク（尼港）事件学習会のチラシを見た。恥ずかしながら、この時この歴史的事件の名前を初めて知った。チラシによると事件があったのは1920年。庄蔵さんが亡くなった年と同じであったため、もしやと思い学習会に参加することにした。

そして学習会当日。資料の年表に目を通すと、- 1920.3.13 ニコラエフスク事件 - とあった。この日付は庄蔵さんの命日とぴったり一致する。

ロシア革命に干渉するため日本は米英仏と共同出兵する。庄蔵さんが所属していたであろう水戸第2連隊が派兵されたのがアムール川の河口にある極東の中心都市ニコラエフスクだった。やがて米英仏は撤退するが、その後も日本軍は駐留を続ける。そしてアムール川凍結により水戸第2連隊は孤立。援軍が望めないままパルチザンに奇襲攻撃をするが返り討ちに合い全滅する（虐殺が行われた）。その後パルチザンが街ごと焼き払ったため、春になり援軍が到着した時にはどこに何があるのか全くわからない状態だった。

この事件を受けて日本はソ連に賠償請求し北樺太を補償占領する。連隊の孤立は十分予想できたはずだ。覇権のための捨て駒にされたのかと思うと、庄蔵さんを直接手にかけた人間より当時の日本政府と軍部に腹が立った。

## 『代表理事・常任理事はこんな人』

第四回目は、代表理事・中山弘子さんです。



私は高度経済成長の中で育ちました。給食費も教科書も無償。給食の脱脂粉乳は4年生から牛乳に変わりました。歴史の授業で近代史は深く教えられず、戦争については年表をたどるような授業でした。中学の時、父から渡された広島原爆体験記で原爆の悲惨さを知り、井伏鱒二の「黒い雨」を読みました。クラスメイトの陸ちゃんが被曝2世と知った時は衝撃でした。民医連に入職し医療技術だけではなく、戦前戦後の医療の歴史、いのちの平等を学びました。恐ろしい731部隊の存在は秋元寿恵夫先生からお話頂きました。今の学校教育で、平和問題を十分に教えているとは言えないと思います。憲法や情勢を学び、戦争体験を語り継ぐことが大切です。

医療人として、『平和でなければいのちは守れない!』ことを、多くの人びとに訴えたいと思っています。

事件の凄惨さを知り気持ちが重くなったが、会ったことはないけど小さい頃から親しんできた「庄蔵さん」の最期を史実として知ることができて良かったと思う。実家に帰って学習会で学んだことを早速報告した。少しは供養になっただろうか。

内原・友部平和の会 恒例の『里山 秋のつどい』  
他地域の平和の会の皆さん、ぜひご参加下さい。

日時：10月23日（土）10時～

ところ：ふれあいの里キャンプ場（城里町）

会費：1,000円

☆キノコ鍋・うどんを囲み、舌鼓を打ちながら  
秋を満喫！平和を語り、リフレッシュ！

連絡先：川井光（Tel.0296-78-3365）

谷津進（Tel.029-259-3810）

（集合場所や現地までの行き方など、詳細は  
お問い合わせ下さい。）